



【OPDIVO+SOX療法について】
(ニボルマブ+S-1+オキサリプラチン)



☺ **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
デキサメタゾン錠 (デカドロン)	吐き気止めです	1日2回 内服		☺	☺																			☺
生理食塩液		15分	☺																					☺
ニボルマブ注(オプジーボ)	抗がん剤です	30分	☺																					☺
生理食塩液		6分	☺																					☺
パロノセトロン注(アロキシ) デキサメタゾン注(デキサート)	吐き気止めです	15分	☺																					☺
オキサリプラチン注 デキサメタゾン注(デキサート)	抗がん剤です 血管痛予防です	2時間	☺																					☺
生理食塩液		15分	☺																					☺
S-1錠 (ティーエスワン等)	抗がん剤です	朝・夕 内服	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺						☺

☺ **治療による副作用**

注意が必要な時期

	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	過敏症	痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																				
	食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																				
	手足のしびれ	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。冷たい物に触れないようにしましょう。																				
	口内炎	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。菌磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																				
	下痢	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出る場合はお知らせ下さい。																				
	皮疹	皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																				
	色素沈着	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																				
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																				
検査値	白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																				
	赤血球減少(貧血)	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																				
	血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																				
	肝障害	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																				

・オプジーボによる注意を要する副作用の一部

- 間質性肺疾患(症状の例: 息切れ、息苦しい。咳が出る。発熱など)
- 1型糖尿病(症状の例: 口が渇く。たくさんの水分が欲しくなる。尿の量や回数が増える。疲れやすい。体重が減る。吐き気、嘔吐。腹痛など)
- 甲状腺機能障害(症状の例: 気力の低下。疲れやすい。まぶたが腫れぼったい。さむけを感じる。体重が増えるまたは減るなど)
- 重症筋無力症(症状の例: まぶたが下がったまま戻らない。物が二重に見える。手足に力が入らないなど)
- 薬剤の注入に伴う反応(点滴中または投与後)(症状の例: 吐き気、嘔吐。注射部位のほてり、痛み。かゆみ。息切れ、息苦しい。発熱など)

・その他の副作用や副作用の詳細は、別にお渡しした説明冊子を参考にしてください。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

実際の投与スケジュールと異なる場合があります。本資料は参考としてお使い下さい
 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター薬剤部(代表)052-991-8121